



おじさん 食べたくなっちゃうなあ…♡

あやこ
絢子ちゃんは
本当に可愛いねえ

男は
色欲の獣



やめろッ!!

その子から
今すぐ離れるんだ!!

そんな事実を知ったのは
まだ幼い頃だった



大丈夫…

もう
大丈夫だよ

あれ以来私は極度の
男性嫌いになった
のだけれど



この度結婚しなければ
いけない事態に陥りました

絢子：父さんが
不甲斐ないばかりに
すまない

商社の経営が
上手くいかず

我が園崎家は
破産寸前なんだ

この屋敷も
抵当に入っていて

このままでは
住むところも
なくなってしまう…

そこでだ！

お前には資産家から
多くの縁談話が来ている

家を助けると思っ
てどうか結婚を
考えてくれないか！！

…つまりは
身売れということね

女というだけで
取引道具のように
扱われる



大正の世になつて
女性の社会進出は
進んでいるけれど、
男女平等にはほど遠い

女性解放

性別に関係なく
人は自由であるべきだし
このような話は
一蹴したい...でも



...わかりました

そのお話
お受けいたします

ただしお相手は
私が選びます
よろしいですか？



弟の永馬は
まだ幼い

姉さま！

貧しい思いをさせて
あの子の未来を
閉ざしたくはない



ありがとう絢子!!
それはもう
お前好みの方を!!

…この方

顔は整っているのに
幽鬼のように
まるで生気がない…

その方は
籠宮伯爵だ

銀行など手広く経営
されているやり手で
家柄も申し分ない！

…私が伴侶に
求める条件は

ただし
離婚歴があつて
年はお前の倍
以上あるし
人付き合いは
イマイチ…
他の方の写真も
見てみたら
どうだい？

夜伽を極力
しない人

こんなに活力が
なさそうで年上！

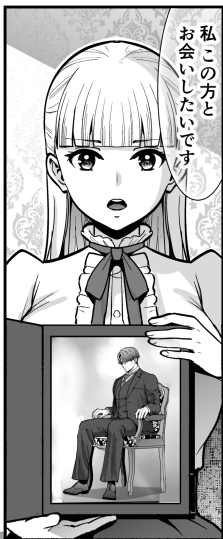
アチラの方も
枯れているのでは!?

お父様



お前が
言うなら…

では早速
見合いの準備を!!



私の方と
お会いしたいです



男性嫌いの私は
結婚なんて
考えてもいなかっただけ!

でもそれじゃ道が
ないのであれば



少しでも自分らしく
生きられるように
あがきたい

本日は
お日柄もよく

媒酌の労をとらせて
いただく私どもと
いたしまして
大変嬉しく存じます

ホホホ

色々取り持ちたい
ところですが

まずはお2人で
ごゆっくりと



カゴーン



…この方が
かごみやせいいちろう
籠宮成一郎様

お写真より
ずっと男前だけど
凄く翳がある

やはり生命力が
感じられない…
性欲皆無に
違いないわ!!

よら
絢子さん





：当時私は病を患ってしまして妻を氣遣うことが出来なかつたのです

そうしているうちに妻には他の男が出来家を出ていったという情けない経緯です



よかつたそんなことか

お氣の毒なことです：ですが私は貴方を裏切ることはございませぬ！

はいッ！
私男なんぞに現を抜かすなんてこと

絶対にありえませんから！！

ほうそれは頼もしい



はっ

しっ

はは

つい本音が…!!
家のためにも
破談は避け
なければ…ッ

えっと…
そついつわけ
ではなくて

…絢子さん私は
二度目の結婚を

愛情あるものにした
いと思っ
ています

求婚拒否

しかし貴女は
その美貌とともに
大の男嫌いでも有名だ

私は強い芯を持つ貴女が
気に入っているが
気がかりでもある

痴漢撃退

…もう一度
お尋ねします

その「男」の中に私も
含まれていますか？

私は結婚にお互いの愛情を求めますが

貴女は私でよろしいですか？

それが貴女の答えなのでしょうが

その悲壮な顔…

愛情…

それは家族愛だけではない
性愛も含んだ問いなんだろう…

家のため
覚悟は決めたつもり
だったけれど

改めて問われると
体が震えてきそう…

私以外を選んでも
求められることだと
思いますよ？

…そんなの
わかってます!!



貴女の理想の
結婚生活を賭けて

ふふ

私と遊ゲームを
しませんか？

そんな絢子さんに
一つ提案です

…遊ゲーム？



私との結婚が
前提となりますが

まず結婚後一週間は
私との夜伽に
付き合ってもらいます

一週間が経った後
貴女が夜伽を
続けたくなければ

その後一切私から
求めることはしない
貴女の勝ちです



しかし夜伽を気に入って
貰えたなら私の勝ち

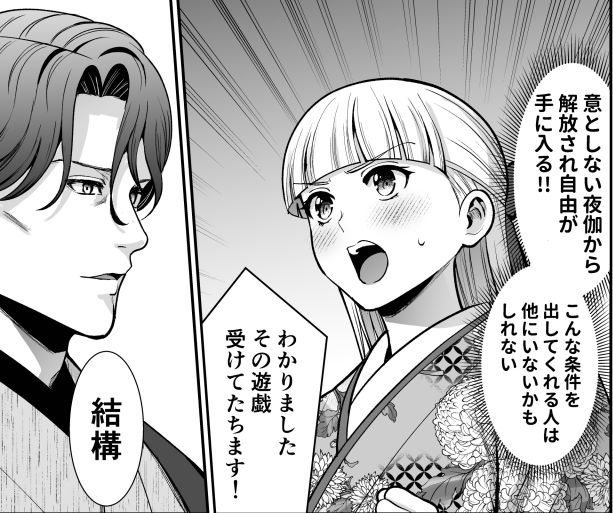
二人で仲良く
子作りに励みましょう

如何ですか
絢子さん

なんて
莫迦げた遊戯…

日でも二週間

二週間
我慢すれば…



意としない夜伽から
解放され自由が
手に入る!!

こんな条件を
出してくれる人は
他にいないかも
しれない

わかりました
その遊戯
受けてたちます!

結構



では仲人に
結婚を決めた旨
伝えてきましょう

大丈夫
私は負けない



相手は病弱な方で
落ち着いたお年

夢中になるほどの
夜伽が出来るとは
到底思えない

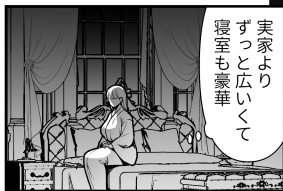
自由のために
私は屈しない

そうして……



婚儀は
とんとん拍子で
進んでいき

私は彼の
妻となった

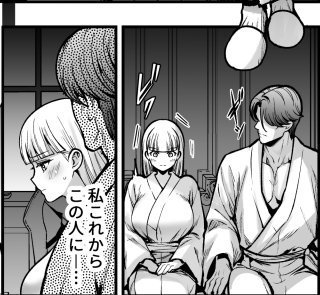
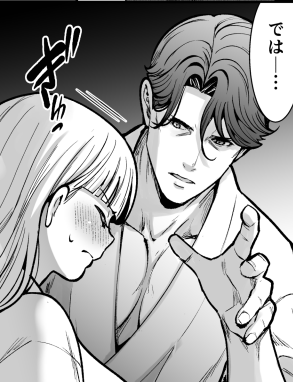
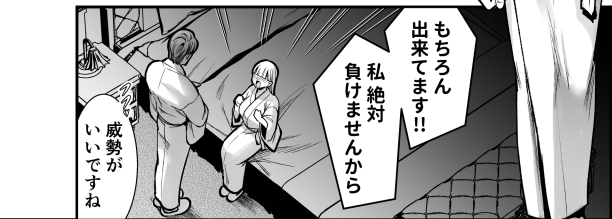


実家より
ずっと広くて
寝室も豪華



ここが今日から
私が住む籠宮邸…

初夜当日

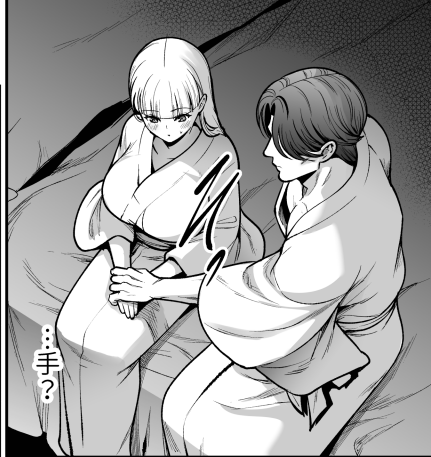




私に触られるのは
平気ですか？

…はい

そこを確認
してくるんだ



…手？

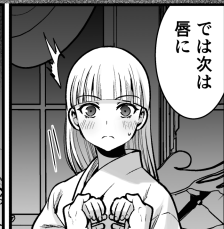


大きくて
思ったより
温かい手…

なんだか
調子が狂う

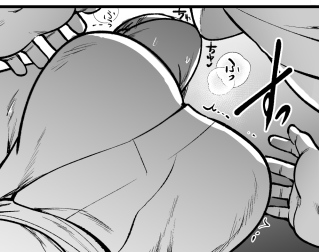
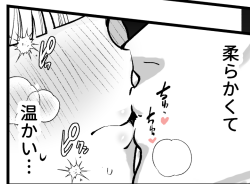


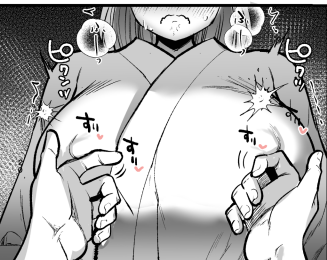
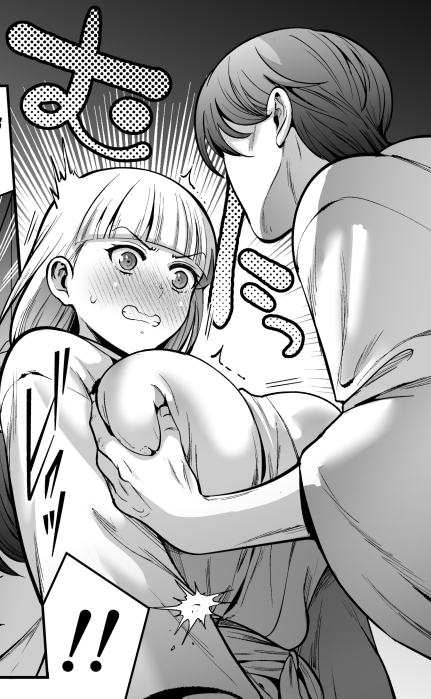
目を閉じて

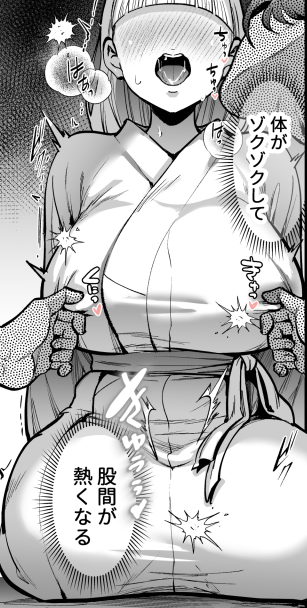


では次は
唇に









体が
ソクソクして

股間が
熱くなる

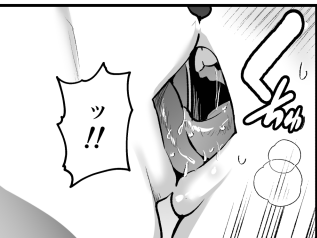


感度もすこぶる
よろしいですね

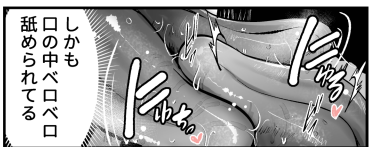
ナニ…

コレ…

少ししか
触られて
いないのに



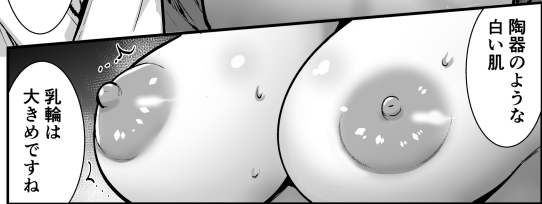
お口開いて
きましたね





…裸
見られた

…ああ
素晴らしい



陶器のような
白い肌

乳輪は
大きめですね



乳首はツンと
上を向いて
吸って
欲しそうに
している

そんな
わけ…ッ



やっぱり申告は
必要でした？



私吸って
いいなんて
言ってるな...



もしかして
この人

tottemo
iya rashii
nana de wa!?



ではこれから
全身くまなく

接吻して
いきますね



こんなの
思っていたのと
違う…!!

嘘…
足の裏まで



こんな暗い顔
しておいて

触れる手や
唇は熱っぽい



ねっとり味わうように
私の体を隅々まで



そうですか？
でもここは—



絢子さん

声は我慢せずに
気持ちよく
なってください

我慢なんか
してませんし
気持ちよくなつて…!!

こんなに
濡れている

か
あ
あ
あ

違う：
これは
恥ずかしがらずに
誇っている



貴女は
極上のいい女だ



またお股が
熱くなって

心臓が
ドキドキする

トキ

私：
何だか変



絢子さんの蜜で
たっぷりの可愛い所
すぐにも
味わいたいです

続きは製品版で
お楽しみください

初めてでしようから
周りからじっくりと
可愛がってあげますね

内股を触られてい
ただけなのに
私なんてこんな

大体直接触ら
私を弄ぶな
性格の悪い